

令和4年 9月の大阪森林便り

目次

🌳 今月の木の話 洋酒用の樽からしみだす成分

- (1) 🌳 集成材 2年ぶり下落 住宅向け 輸入材増え需給緩む
- (2) 🌳 銀座木造ビルにアップルストア
- (3) 🌳 森林浴の効果を見直そう



今月の木の話 洋酒用の樽からしみだす成分

* ウイスキーを貯蔵する樽の材料には、ホワイトオークやコモンオーク等のオーク（ナラ）が使用されています。

* ホワイトオーク：北米大陸が産地。色が白く、重くて硬い材料。

* コモンオーク：ヨーロッパや北アフリカ、西アジアなどが産地。ワイン樽としても。

* 樽に長期間貯蔵して熟成させます。

* 樽のオーク材に含まれる香り成分や、タンニンやカテコールなどのポリフェノール類などがゆっくりと酒にしみ出し、無色透明から琥珀色に変え、まろやかな味に。

* 洋酒の樽にオークが使用されているのは、液体が漏れにくい構造であること、香り成分やポリフェノール類などが酒づくりに重要な役割を果たしているため。
(木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100問より抜粋引用)



(1) 集成材 2年ぶり下落 住宅向け 輸入材増え需給緩む

* 国産の集成材の流通価格が2年ぶりに下落。

* 輸入材の増加などを受けて木材需給のひっ迫感が薄れてきています。

* 国産針葉樹合板も上昇が一服。

* 高騰が続いていた木材相場に変化の兆し。

* 集成平角は東京地区の流通価格が、2020年7月以来の下落。

* 1-6月の集成材輸入量は、前年同期比で25%増加。

* 住宅需要が弱くなり始め、在庫がだぶつきだしました。

*集成材の原料となる引き板材「ラミナ」の対日輸出価格も 2 四半期ぶりに下落。

- ・欧州産の 7~9 月期価格は、前四半期（4~6 月期）から 25%ほど下落。
- ・契約量は減りました。

*国産針葉樹合板は 6 月から横ばい。

- ・2021 年 11 月以降、最高値を更新し続けていました。
- ・原料の国産丸太の価格が落ち着いてきました。

*木材製品の価格水準は当面、高値圏で推移しそう。

- ・受容が鈍いため、価格調整には消極的。
- ・ラミナも 7 月から入荷されているのはロシアのウクライナ侵攻で急反発した 4~6 月期契約分で、円安もあり高値。

・国産針葉樹合板は在庫が依然として少なく、接着剤価格の高騰や物流コストの上昇があり、下がる状況にはありません。

（2022 年 8 月 2 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



(2) 銀座木造ビルにアップルストア

ヒューリックが開発、耐火構造

*ヒューリックが開発した東京銀座の木造ビルに、米アップルの直営店「アップルストア」が中核テナントとして入居。

- ・日本初の耐火木造 12 階建ての商業ビルで営業。

*オフィスビルに加え商業ビルでも環境対応が求められる時代に。

*鉄筋コンクリートや鉄骨を一部使う物の、建物荷重の過半を木材が支えます。

*木材の使用量は約 300M3。

*震度 7 程度の地震にも耐える性能。

*2021 年 10 月に完成。

*通常のビルより建設費はかかり家賃もその分割高になるものの、環境対策を進める企業が入居。

*三菱地所は 2021 年秋、札幌市に木造の高層ホテルを開業。

*三井不動産は竹中工務店と連携し、東京日本橋に木造ビルを建設する計画。

（2022 年 8 月 18 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

(3) 森林浴の効果を見直そう

* 森に入ると独特の香りに安らぎを感じます。

・ フィトンチッドという揮発性物質が、樹の幹や葉から大気中に放出されています。

・ 樹木を食べつくし、葉を枯らす虫を遠ざけたり、有害菌を不活性化したりする効果。

・ 主成分テルペンはマイナスイオンの発生を増やすことに関与。リラックスしたときに生じる脳の α 波を誘発。

* 森林での安らぎは、風で歯がさらさらとこすれる音、生い茂る樹々の間から射し込む陽光、雲の動きで強弱がつく明るさ、小川のせせらぎ、さまざまな要素が絡み合います（「ゆらぎ」と表現されます）。

* 森林の中で人は五感を通して多彩で穏やかな「ゆらぎ」を感じとっています。

* ヒトの生体も同様にゆらいでいて自然のゆらぎに共鳴し、 α 波を誘発しています。

(2022年8月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

